

令和4年11月三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 令和4年11月29日（火） 午後3時15分～午後4時01分

○場 所 三浦市役所第2分館 第2会合室

○次 第

1 開 会

2 会議録の承認

3 署名委員の指名

廣瀬 牧 実 委員、 石 渡 博 幸 委員

4 教育長報告

(1) 学校訪問について

(2) 教職員の新型コロナ等の感染対策について

(3) 「はたちのつどい」等の行事について

5 報告事項

(1) 令和4年10月の後援名義等使用について

(2) 三浦市学校教育ビジョンについて

(3) 三浦市学校給食について

6 審議事項

(1) 議案第25号 令和4年度三浦市一般会計補正予算（第5号）に関する申出について

7 その他

8 閉 会

○出席委員（5名）

| | |
|---------|---------|
| 教 育 長 | 及 川 圭 介 |
| 教育長職務代理 | 石 毛 浩 雄 |
| 委 員 | 石 崎 勇 吾 |
| 委 員 | 廣 瀬 牧 実 |
| 委 員 | 石 渡 博 幸 |

○説明のために出席した職員

| | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 教 育 部 長 | 増 井 直 樹 | 教育総務課長 | 塚 本 孝 治 |
| 学校教育課長 | 高 梨 真 一 | 学校給食課長 | 武 田 健 二 |

○事務局出席者

| | | | |
|---------------|---------|---------|-----------|
| 教育総務課グループリーダー | 浦 西 伸 一 | 教育総務課主事 | 吉 田 か お り |
|---------------|---------|---------|-----------|

○傍 聴（0名）

○及川教育長 それでは皆さんこんにちは。

少し開会が遅れましたけれども、ただいまから令和4年11月三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに前回の会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでに皆さまのお手元に送付してございますけれども、本案修正等に関する皆さまの御意見をいただいた上で、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて承認をいただきたいと思っております。

それでは、修正等につきまして御意見ございましたら、お願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(発言等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければお諮りいたします。

前回会議録につきまして、令和4年10月三浦市教育委員会定例会会議録のとおりとすることについて、併せまして、誤字脱字等の修正につきましては教育長一任とすることについて、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長 ありがとうございます。

御異議ないようですので、前回会議録につきましてはそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に廣瀬委員と石渡委員を指名いたします。

よろしく願いいたします。

○及川教育長 それでは、続きまして次第4「教育長報告」であります。

今回の教育長報告ですけれども、まずは11月15日、17日、18日の3日間にわたりまして教育委員の皆さんに学校訪問を実施していただきました。お疲れ様でした。

3年間実施していなかったということで本当に久しぶりの学校訪問でしたけれども、学校の現場を直接見ていただいて、また、校長、教頭、管理職との直接話をさせていただいて得るものが多かったのかなと思っております。今後の教育委員会の中での議論に活かしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

次に新型コロナの関係ですけれども、感染者は減ってきている状況もありながらも学校の中ではまだまだ減り切れていなくて、ぼちぼちと出ている状況が続いているということでもあります。まだまだ安心できる状態ではないと思っております。

そのような中、厚生労働省の依頼で小学校のみですが教職員の集中検査を行うことといたしました。その目的といたしましては、今後、懸念されます新型コロナの第8波、あとは寒くなる時期ですのでインフルエンザの流行も心配されます。その同時流行に対しまして、教職員の検査を集中的に行うことによって、教職員が新型コロナに感染していないことを確認し

ながら安心して子どもたちと接して、学校での感染拡大防止対策を強化していこうということが目的であります。

期間といたしましては、12月3日（土）から令和5年2月24日（金）までの12週間ということで行っていきます。基本的にはそれぞれの各教職員が土曜日から金曜日までの1週間に2回検査を実施していくということで1人あたり24回分の検査キットを配布いたします。ただ、これについては状況を見てということもありますので、この週2回ということに限らず状況を見て検査キットを有効に使っていきたいと思っております。検査を行って陽性だった場合には、校長にその旨を報告して、そして校長は翌週の月曜日に教育委員会に報告、それを受けた結果をもって、県に報告をするということになります。そのようなことを先ほど申し上げましたけれどもコロナの第8波、インフルエンザの同時流行する時期に集中的に行いながら教職員の安全、子どもの安全ということを守っていきたいと思っています。With コロナに対しての新たな意向の1つの取組みということで様子を見ながら進めていきたいと思っております。

また、今後については学校生活を安心してできるようにということで国や県と連携して、取組みを進めていくことができればと思います。

そして、学校行事の関係についてですけれども、11月3日に三崎小学校150周年の行事がありました。本来ならその日の最後に花火をということだったんですけれども、天候の関係でできなかったため、そのファイナルの花火のみを12月1日（木）18時から旧三崎中学校グラウンドで行う予定です。天気も心配される中ですが無事に出来ることを祈っております。

また、海洋教育の写真コンテストが今年も行われまして、応募数は小中併せまして941点ということでありました。今年は11月1日に表彰式を三浦市民ホールで行われました。この写真コンテストでは最優秀賞2点、優秀賞が16点、特別賞が2点ということで選ばれております。それらの作品については、『三浦学海洋教育ネットワーク通信』というものを発行しているんですけれども、そこに掲載してみなさんにお知らせしたり、あとは三浦市海洋教育というホームページがありますのでそこで紹介しています。併せまして商工会議所が毎月情報誌として発行している『商工情報みうら』にも来年にかけて優秀な作品を掲載していく予定をしております。

また、今後の予定でありますけれども年明け1月9日成人の日に「はたちのつどい」を行います。教育委員のみなさんにも出席をしていただきますけれども、今までは「成人の日のつどい」でしたが、今回から18歳の成人での実施ではなく、20歳になってから集いを行おうということで名称を「はたちのつどい」に変更して行うことにします。このことについては、後日、改めてお知らせをしていきますのでよろしくお願い致します。

最初にも申し上げましたけれども、コロナ、インフルエンザ落ち着いた時期に向かって行くのかなと思っていますけれども、学校の行事、「はたちのつどい」のような市のイベントについてもできるだけ行うという方向で色々な手立てを取りながら進めていくことができればと思っています。よろしくお願い致します。

教育長報告は以上です。何か御質問等ございましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。

○石渡委員 検査キットというお話がありましたけれども、抗原検査のものですか、それともPCR検査のものでしょうか。

○高梨学校教育課長 抗原検査の簡易キットになります。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。なければ次に進みたいと思います。

それでは、次第5「報告事項」に入りたいと思います。

まず、(1)令和4年10月の後援名義等使用について、報告をお願いします。

○塚本教育総務課長 それでは令和4年10月の後援名義等の使用について御報告いたします。議案、資料1ページ、資料1を御覧ください。

令和4年10月に資料記載の教育総務課関係3件の申請につきまして、後援名義の使用承認をいたしました。

内容等について御不明な点がございましたら御質問をお願いいたします。

○及川教育長 報告は終わりました。御質問等がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○石毛委員 サッカー写真展のイメージが沸かないのですが、具体的にどのようなものでしょうか。

○塚本教育総務課長 アリーナとスポーツ公園に日本代表選手の写真をパネルに立てて飾ってあるというくらいの規模です。

○石毛委員 サッカー選手のパネルがそれぞれあるという感じですか。

○塚本教育総務課長 そうですね。1枚のパネルにそれぞれの代表選手の写真が飾ってあるという感じです。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。なければ次に進みます。続きまして、(2)三浦市学校教育ビジョンについて、報告をお願いします。

○塚本教育総務課長 それでは、学校教育ビジョン地域協議会等について説明いたします。

令和4年11月14日に三崎地区、南下浦地区合同の地域協議会、11月21日には第3回の総合教育会議を開催し、教職員、保護者、市民の3つのアンケートの教育委員会による考察、まとめについて報告いたしました。また御意見徴収もしております。併せて、段階的統廃合、通学の安全確保、統廃合した場合の跡地利用についての3つの柱をもって、学校教育ビジョンを見直す方向性についての考えを報告し、了承をいただいております。

今後につきましては、令和4年度中に「三浦市学校教育ビジョン」の改定を目指して作業を進めてまいります。

また、令和4年6月に実施した保護者アンケート結果におきまして、剣崎小学校については、他の7校と違い、「複式学級でもよい」という回答が1割以上、多くあったことを受けまして、

複式学級に誤った理解がないか、正しく理解されているかという教育委員会としての疑念が生じたので、確認のため地元保護者との意見交換会を12月3日（土）18時から予定しております。学校教育ビジョンに対する理解を深めていただく上でも、有益な意見交換会にしたいと考えております。

報告は以上です。

○及川教育長 報告は終わりました。

御質問等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○石崎委員 先程のアンケートのまとめで方向性というか、取りまとめた3つの内容が出たと思いますが、それをどういう風に進められていくのか、今後の予定を教えてくださいたいと思います。

○塚本教育総務課長 具体的にどう表記していくとかそういう話でよろしでしょうか。学校別にこの学校がいつ統合、廃校になるといったようなことでしょうか。

○石崎委員 そうですね。その準備予定ですね。

○塚本教育総務課長 ビジョンの見直しは令和4年度中に行いますけれども、「何年度に〇〇小学校を統廃合します。」というような実施計画は令和5年度以降になると思います。

○石崎委員 その協議というか方向を示す会議というのはどういうところで、どのような判断の中で決まるのでしょうか。

○塚本教育総務課長 地域協議会と庁内検討会議がございますので、基本的にはその2つの中で御意見をいただいて揉んでもらうのかなというところです。

○増井部長 まずは、教育ビジョンの見直しを今年度行います。

その後具体的な学校の再編を行なう場合には、今、段階的にという柱を立てましたので、一気にというのではなく、個別の調整が必要になってきます。それについては、行政としてしっかりと個別の計画を立てるということになります。

その計画を立てる際には、最終的には教育委員の皆様にも御意見をいただいて計画立案というかたちになってから進めるということになります。また、その前には色々と御協力、御意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員 先程の12月3日の剣崎小学校の説明会というのは、剣崎小学校の現在の保護者と地域の方とかも参加可能なのでしょうか。

○塚本教育総務課長 未就学児の保護者にも声をかけていただいている状況ではあります。例えば地域の方で剣崎小学校周辺の方でとても将来心配されている方が一緒に来られたとしても拒むものではないと思っています。

○増井部長 基本的には保護者と意見交換をする会という位置づけです。

○及川教育長 先日のアンケートの対象者というのが、小学校の保護者とこれから入学する子どもたち、未就学の保護者というのを対象にしていますのでその範囲ということです。剣崎小学校の場合には、今後の入学について心配されている方が多いので「学校へ行こう週間」などを行う時には、今の保護者のほかにこれから入学する子どもを持つ保護者にも呼び掛けていて、結構そういう繋がりがあるんですね。今回の通知についてもそういう方にもお渡ししていますので積極的に来られると思います。あとプラスアルファがあればその方も受け入れるというかたちですね。

複式学級ということについてアンケートの中でも説明はしているつもりなんですけれども、その説明だけでは十分にイメージしきれていない部分もあるだろうと、そのことによって、複式学級でも良いということを選択した方がいるとするならばきちんとした理解のもとで判断していただくのがいいだろうということで意見交換会を行うことにしています。

そのほかいかがでしょうか。

○石渡委員 具体的に計画を立てたり、ビジョンに向かってどう進むのかということを経済委員会だけでは厳しい部分があると思うので、そういうときには地域や教職員、そういう専門的なものを立ち上げながら色々な角度からビジョンを考えていくというような意思はないのでしょうか。

○増井部長 基本的にはビジョンの推進にあたってはオール市役所であたるという考えが市長から示されておりまして、庁内の協力を得ながらというかたちになろうかと思っております。

そのほかは先ほど申しました個別の計画という話になってきますので、その計画につきましては基本的には教育委員会、市役所内で決めた後、その実行にあたっては地域の皆さまのお考えもあると思いますので、その場合には然るべき会議体をもちながら、御意見をいただきながら進めていくかたちになろうかと思っております。

○石渡委員 具体的な内容についてはもっと先に進んだ段階の中で色々な人に関わっていただいて、それをビジョンに反映していくということによろしいでしょうか。

○及川教育長 学校教育ビジョンというのは、三浦市全体の今後の学校の在り方を示していくわけですね。その中にはどこどこの学校をいつまでにとということまでは含まれません。学校教育ビジョンの中でこういう方向で進めていきますよということが書かれていることに該当する学校が出てきたときには、該当する学校をどうするかということでの会議体を作って協議する場を設けて、その中でどのようにしていくかという具体的な話し合いを進めていきます。

これまで行ってきた中では、三崎中学校と上原中学校を統廃合したときにはビジョンというものではなくて学校の適正規模、適正配置に関する基本方針があって、その中で中学校については教科の専門性が保たれなくなった時には統廃合を考えていきますよということで、当時、三崎中学校の規模が小さくなってきて先生の数も少なくなり、教科の専門性が保てなくなった状況になったので、三崎中学校と上原中学校を統廃合するための協議会を立ち上げて、その中には校長先生やPTA会長、両校に関係する区長さんたちが入って協議を進めていったということになりますので、小学校の場合にも同じではないですけどもそのようになったら該当する地区の協議会を立ち上げ進めていくことになると思います。

そのほかいかがでしょうか。

○石毛委員 14日の協議会で主だった意見は出されたのでしょうか。

○塚本教育総務課長 基本的には教育委員会が示した内容で御了解いただきました。

○増井部長 この間の総合教育会議の中で3本の柱の一つ目の柱、段階的統廃合と明記したのですが、そちらについて最初は段階的な統合を進めていくべきと少し簡単な表記でしたが、地域協議会の中では、やはり市として学校教育ビジョンに掲げました小中一貫教育、それと、なるべく多くのできれば複数の学級が設置を実施できる学校というのは、今後目指していくというのは揺るぎないものであると発信しておりますので、最終的な学校形態を見据えた上での段階的な実施というものをきちんと示すべきであるという意見はいただきました。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ないようでしたら次に進みます。続きまして、(3)三浦市学校給食について、報告をお願いします。

○武田学校給食課長 それでは三浦市学校給食の現状について報告いたします。

現在一日あたり、三崎の調理場で約1,500食、南下浦の調理場で約900食を作っております。年間の回数は183回、給食費については、日額で小学校240円、中学校280円、月額にしますと小学校4,000円、中学校4,700円で設定しています。

現状は給食食材の高騰により、設定した給食費よりも1食当たり20～30円程度高くなっております。この食材の高騰による不足分につきましては、市から補助を受ける予定です。

今後も食材費の高騰は継続すると予想されるため、給食費の値上げを検討しています。本市の給食費は、県内の市部と比較しても安価な給食費となっています。県内市部の月額の給食費の平均につきましては、小学校が4,374円、中学校が4,914円となります。

今後給食費の値上げをする場合には、学校給食会の承認が必要となるため、臨時総会を開催しなければなりません。値上げ額については、食材の高騰というのはどこの市でも同じような状況となりますので、他市の状況なども考慮しながら検討していきたいと考えております。

続きまして、12月に「食よし三浦学校給食」と銘打って地元の事業者への経済支援として、三浦市からの補助を受けて、通常、学校給食で提供できない地元食材を活用し、「食

よし三浦学校給食『三崎マグロの日』として給食を提供します。12月16日に三崎初声地区、12月20日に南下浦地区で実施をいたします。

メニューにつきましては、通常、給食では使用しないメバチマグロを使用した鮪カツ、鮪のそばろ丼で、鮪カツにかけるソースや通常牛乳なのですが飲料を児童生徒が選択できる方式を考えております。

また、2月にも地元食材を使った給食として三浦牛を使用した献立、そして地元産のデザートメニューとして考えています。

以上で学校給食課からの報告となります。

○及川教育長 報告は終わりました。

御質問等がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○石渡委員 今値上げというお話がありましたが、来年の3月までは今のところ保護者からはいただかないという方向になっていますよね。そういう中で食材の高騰ということで新しく始まったときに、値上げというのはギャップが生じると思うので、十分説明できるものなのでしょうか。どのようにお考えかお聞かせできればと思います。

○武田学校給食課長 県内の市部と比較しても安価で提供していますので、今は市から給食費の補助が出ていて保護者の負担はない状況ですけれども、現状の食材費等を丁寧に説明して1食あたりの単価等も説明をして、また県内の各市も値上げを考えているとのことなので、そういったところも比較しながら丁寧な説明をしていきたいと考えております。

○増井教育部長 委員のおっしゃるように現在、学校給食費について6か月間は公費で負担するという政策を行っております。こちらについては県内他市をみても行っていない状況でございます。先進的な試みだったと思っております。

詳細につきましては急激な物価の高騰による激変緩和の意味で、子育て世帯に対する経済的な補助を行っているという位置付けでございます。これがずっと続くかというやはりそれはそうではないと市としては考えております。

学校給食については食材については自己負担というのが原則となっておりますので、どこかの段階では元に戻すということになります。その場合には、やはり実費相当は御負担いただくという原則に戻るといったこととなりますので、先程課長が申しました他市との比較等もお示ししながら、決して高い金額を頂くわけではないと思っておりますので、丁寧に説明をするということに尽きるかと思っておりますけれども御理解をいただきながら進めていきたいと思っております。

まだ値上げをするということも決まったわけではなく、検討しているというところなんです。また、市としての考え方も今後こうせざるを得ないとなったときも説明をし、理事者の考えもお聞きすることも必要かと思っておりますので、丁寧な施策検討を進めてまいります。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員　今の保護者は6か月間公費で補っていただいているというのは学校をとおして知らされているのでしょうか。

○及川教育長　通知も出しております。

○廣瀬委員　今後値上げもあるかもというのは匂わせているのでしょうか。

○増井教育部長　今検討中で、12月中に一度お知らせをしたいと思っております。

○及川教育長　給食費って食材費なんですけれども、給食費については学校給食会というところが集めて管理しています。そこで給食費を月額いくらにするかということについても決めているわけなんです。例年ですと学校給食会の総会が5、6月あたりに開かれるんですけれども、それだと年度過ぎてからになってしまうので、4月から値上げをする場合に後になってしまいますので、値上げを行わなければいけないという状況になった場合には今年度の1月、2月の早い段階で臨時総会を開いてそこでどうするか額を決定する。それに基づいてそれを経たのち、それぞれの家庭、保護者に4月からこうなりますとお知らせするようになると思います。いずれにしても、テレビなどで報道されているように色々なものが値上がりしている状況なので、やはり給食費を上げざるを得ないという状況があるのかな、ただ、石渡委員が先程言ったように6か月ゼロだったものが再開されて、それが今まで以上になっているとなるとギャップは大きいですね。その辺の理解についても丁寧に説明をして得られるような手立てを取っていく必要があるのかなと思います。

○及川教育長　そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。なければ次に進みます。

続きまして、次第6「審議事項」に入りたいと思います。(1)議案第25号「令和4年度三浦市一般会計補正予算(第5号)に関する申出について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

○塚本教育総務課長　それでは、議案第25号「令和4年度三浦市一般会計補正予算(第5号)に関する申出について」御説明いたします。

議案資料2ページ 資料2をご覧ください。

本案件は、令和4年度三浦市一般会計補正予算(第5号)につき、資料記載のとおり申出をすることについて承認を求めるものです。

補正予算の内容ですが、教育費で補正前の予算額9億6750万1千円に1461万6千円を増額するものです。

補正事業の内容は、教育振興小学校管理運営事業で119万円、教育振興中学校管理運営事業で42万円を増額し、感染拡大防止対策における必要な物品等の調達のために補助金を交付するものです。

また、学校給食事業では、食材の高騰分を保護者負担に転嫁せず、学校給食会を支援するための補助金を、869万9千円を追加するものです。

以上で説明を終わります。御審議をお願いいたします。

○及川教育長 説明は終わりました。

御質問等がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○石毛委員 内容を見ますと二酸化炭素濃度測定器を各教室に置くような感じですか。具体的な設置場所は。

○塚本教育総務課長 こちらの感染予防の物品であれば交付の対象になりますので、CO2センサーに限らず、今回この部屋にこれだけ置きますとは特に決めずに、学校の要望等も聞きながら対応していくのかなと思っています。必要なものを購入しようと思います。

○石毛委員 例えばある学校ではCO2センサーではなくて生徒の体温を計る、よく公共施設の入口にあるようなものが欲しいとなればそういったものも考えるということでしょうか。

○塚本教育総務課長 一般的な感染症対策物品であれば対象になりますので、そこは学校の実情に応じてということになります。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。

○石渡委員 今まで、例えば消毒液の状況や体温計の自動でできるものとかそういうものは学校に備わっているのでしょうか。

○塚本教育総務課長 一般的な感染症対策の物品は揃えていると受け止めています。ただ、今回は国からの補助金が追加になりまして、この寒冷期冬の寒い間に暖房もつけますけれども窓を開けて換気しますので、室温管理もしなければいけないとなったときに締め切って二酸化炭素濃度が高くなってしまったらいけないということで、そういったものを購入してくださいという通知がございましたので追加の対応ということになります。

○増井教育部長 国からの補助は3年ぐらい受けておりまして、学校に自由度をもって使っていただくお金として三浦市では補助金を選択しております。石渡委員が心配されているような温度計などはもう充足していると思っていただいて大丈夫だと思います。

○及川教育長 今回出している二酸化炭素濃度測定器は教育総務課長の話にもありましたけれども、今までは冬エアコンの暖房をつけながら換気もして、夏もそうでしたけれどもエアコンをつけながら窓を開ける、室内の温度の管理としては温まらないし、冷えない状況を作らざるを得なかった。それをより効果的に換気をする、必要ときだけ換気をする、きちんと数値で示しながら行えば効率的に暖房、冷房を使っていくことができるだろうと、電気代のことも考えて二酸化炭素の測定器を全部の教室ではないですが、モデルの部屋で測定すればどのような感じかも分かりますし、例えば休み時間に換気をすれば45分、50分間は締め切ったままでも平気だとか、そういう標準が見えればそれに基づいて換気をする。そうすれば冷暖房の効果的な使用にもなっていくだろうということで購入を考えています。今まではなんとなく行ってき

たものを少し見える化、可視化しようということで、効果的に補助金を使っていこうということです。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。なければお諮りいたします。
議案第 25 号「令和 4 年度三浦市一般会計補正予算（第 5 号）に関する申出について」原案のとおりとすることにつきまして、御異議ございませんか。

（異議なしの声）

○及川教育長 ありがとうございます。
御異議ないようですので、そのように決しました。
それでは、続きまして次第 7「その他」に入りたいと思います。事務局から何かありますでしょうか。

（特になし）

○及川教育長 それでは、教育委員の皆さんから何かございましたらお願いします。
よろしいでしょうか。

（特になし）

○及川教育長 よろしいでしょうか。ないようでしたら、以上で「その他」を終了します。
それでは以上をもちまして、令和 4 年 11 月三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。
どうもお疲れ様でございました。

◇ 午後 4 時 01 分 閉会 ◇